

## 市全域の現状と課題

### 第3次加東市地域福祉計画アンケート結果から

#### 【調査の目的】

「第3次加東市地域福祉計画」の策定に当たり、市民の地域福祉に関する認識や課題、意向等を把握し、施策を検討する上での基礎資料とすることを目的として実施しました。

#### 【調査対象】

18歳以上の市民（住民基本台帳による無作為抽出）

#### 【調査方法】

郵送配布、郵送回収

#### 【調査時期】

平成30年9月

#### 【回収結果】

配布数 ----- 2,000件

有効回収数 ----- 744件

有効回収率 ----- 37.2%（男性 39.8% 女性 58.2%）

#### 【調査項目】

- ① 性別
- ② 年齢
- ③ 手助けしてほしいことについて
- ④ 住民相互の支え合い・助け合いの必要性について
- ⑤ 今後重要だと思う地域福祉に関する取組について
- ⑥ 住んでいる地域の問題や課題について
- ⑦ 地域福祉を充実していくための住民と行政との関係について
- ⑧ ボランティア活動への参加状況について
- ⑨ 災害など緊急時の備えとして重要だと思うことについて
- ⑩ 子どもを健やかに育てるために重要だと思うことについて
- ⑪ 高齢者が安心して暮らしていくために重要だと思うことについて
- ⑫ 障害のある人が安心して暮らしていくために重要だと思うことについて
- ⑬ 地域福祉を推進するために市が力を入れるべきことについて
- ⑭ 福祉活動等に関する情報の入手先について

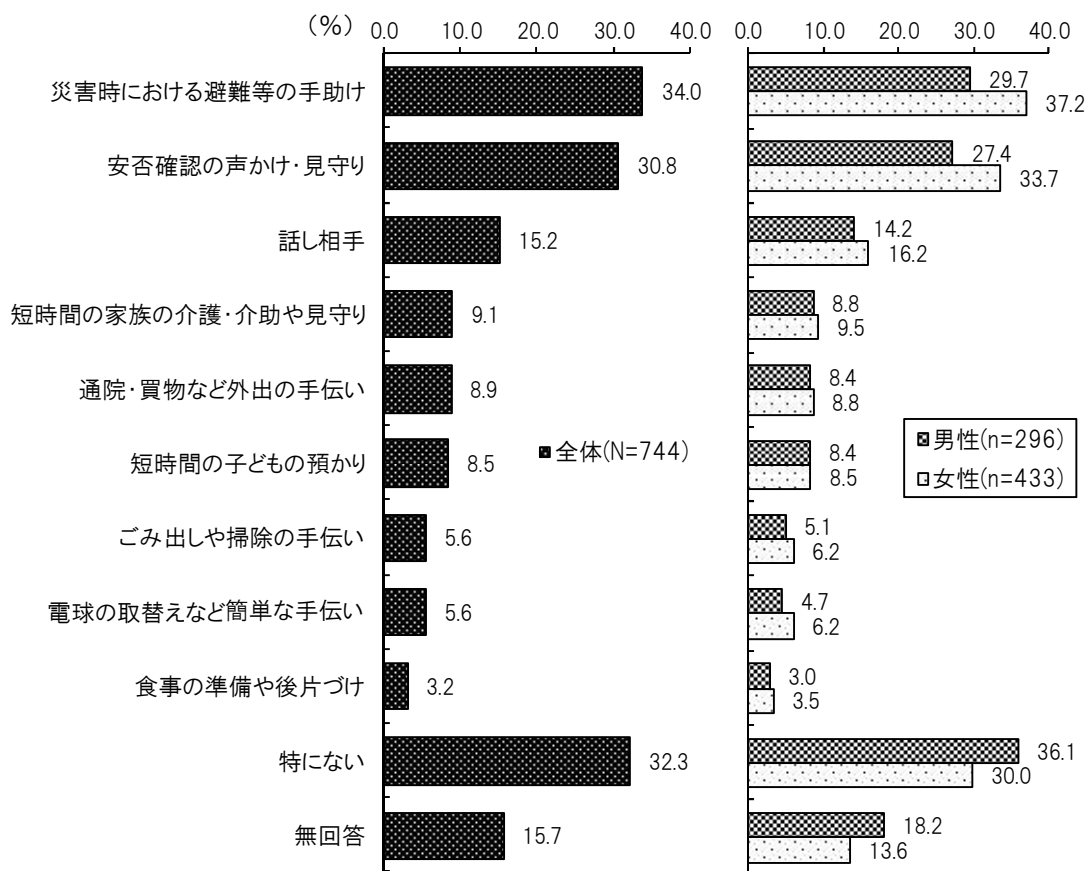
## 【調査結果】

### ■ 近所の人から手助けしてほしいこと

問3① ご近所のお付き合いの中で、あなたやあなたの家族が「手助けをしてもらいたいこと」はありますか。(あてはまるものすべてに○)

近所の人から手助けしてほしいことについては、「災害時における避難等の手助け」の割合が34.0%と最も高く、次いで「安否確認の声かけ・見守り」(30.8%)、「話し相手」(15.2%)の順となっています。

性別では、男性は女性に比べ「特にない」の割合が高く、女性は「災害時における避難等の手助け」「安否確認の声かけ・見守り」などの割合が男性を上回っています。



### ■ 住民相互の支え合い・助け合いの必要性

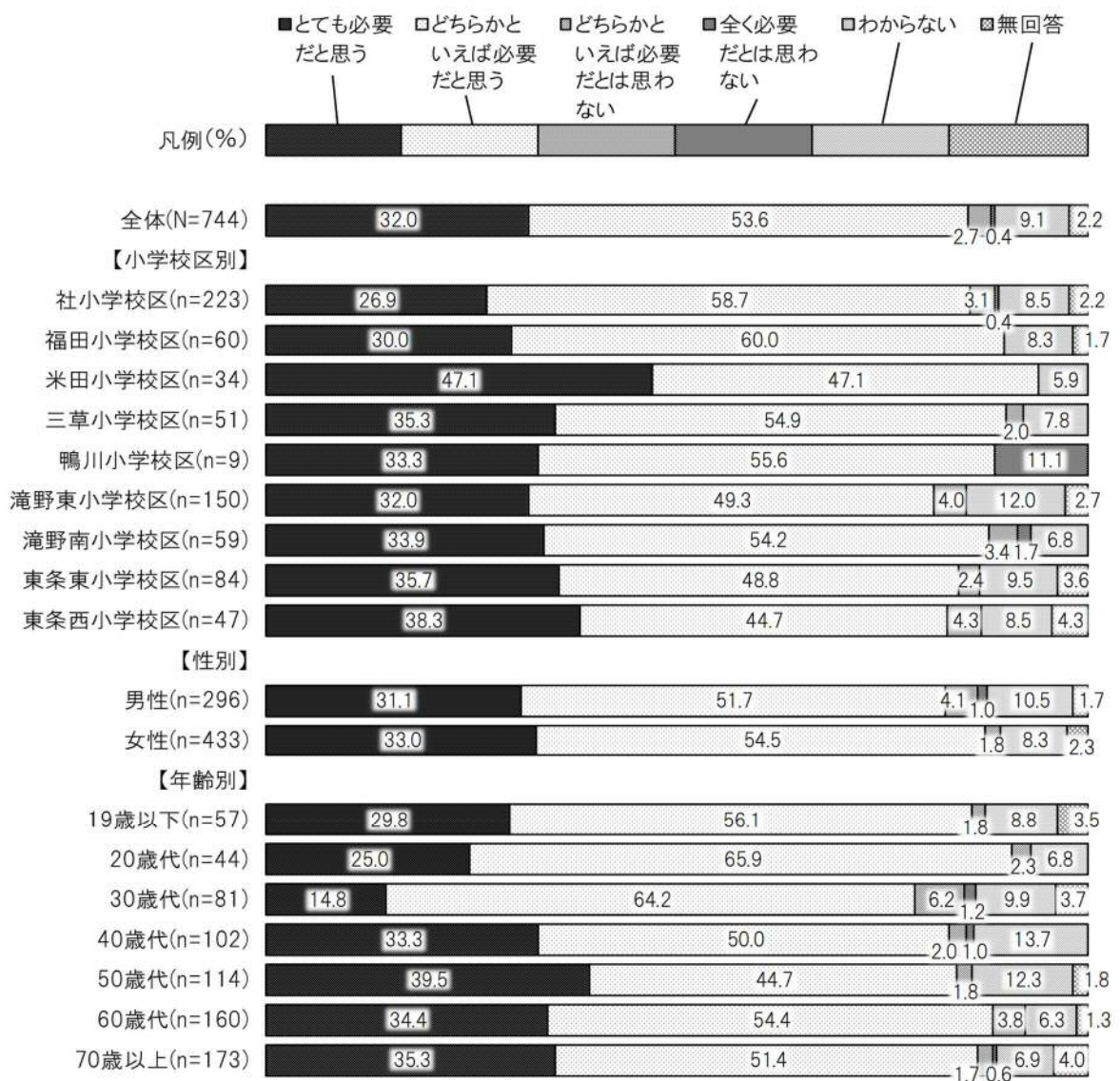
問4 あなたは、地域の福祉課題に対して、住民相互の自主的な支え合い・助け合いが、どの程度必要だと思いますか。(○は1つだけ)

住民相互の支え合い・助け合いの必要性については、「とても必要だと思う」の割合が32.0%、「どちらかといえば必要だと思う」が53.6%で、合計8割以上(85.6%)が『必要だと思う』と回答しています。一方、「どちらかといえば必要だとは思わな

い」(2.7%)と「全く必要だとは思わない」(0.4%)の合計は3.1%となっています。

小学校区別でみると、米田小学校区で「とても必要だと思う」の割合が他の小学校区を大きく上回っています。

性別では大きな差はみられませんが、年齢別では、50歳代で「とても必要だと思う」の割合が他の年齢層に比べて高く、30歳代では低くなっています。



## ■ 高齢者福祉について

問 24 あなたは、高齢者が安心して暮らしていくために、どのようなことが重要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

高齢者福祉については、「通院・買物などの移動支援の充実」の割合が51.6%と最も高く、次いで「デイサービスやホームヘルプサービスなどの在宅介護サービス

の充実」(49.5%)、「認知症対策の充実と家族介護者への支援」(48.1%)、「特別養護老人ホームなどの入所施設の充実」(44.9%)、「訪問や声かけなどの見守り活動の充実」(40.5%)の順となっています。

